

ビタミンA欠乏



小児の失明の主な原因であるビタミンA欠乏は、最も予防できるとされています。

問題の規模

2億5,000万人の未就学児が



ビタミンA欠乏です。



ビタミンA欠乏で失明する子どもの数は年間25~50万人と推定されています。



こうした子どもたちの半数が失明後

1年以内に

死亡しています。

なぜビタミンAが必要なのか？



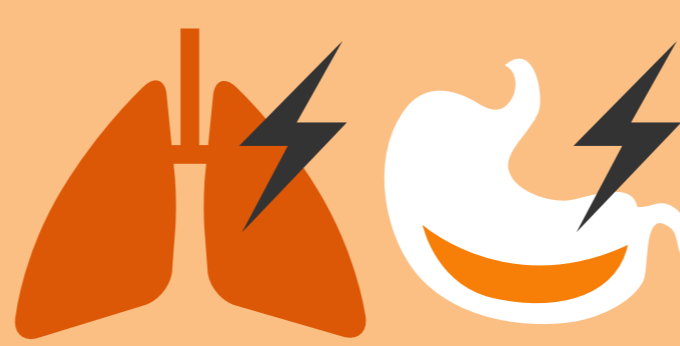
十分に摂取しないとどうなるか？



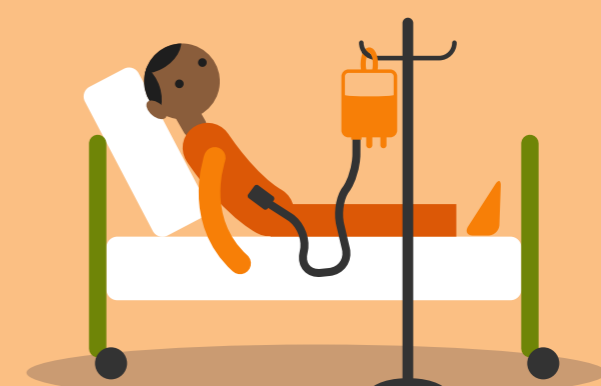
ビタミンA欠乏の初期症状は、視覚障害や夜盲症です。



長期的にビタミンAが欠乏すると、角膜の損傷や失明につながります。



免疫系が弱まると、呼吸器系や消化器系の感染症を発症しやすくなります。



乳幼児の場合、はしか等の乳幼児期によく見られる感染症から、重病や死を招くリスクまでが高まります。

最もリスクが高いのは誰？

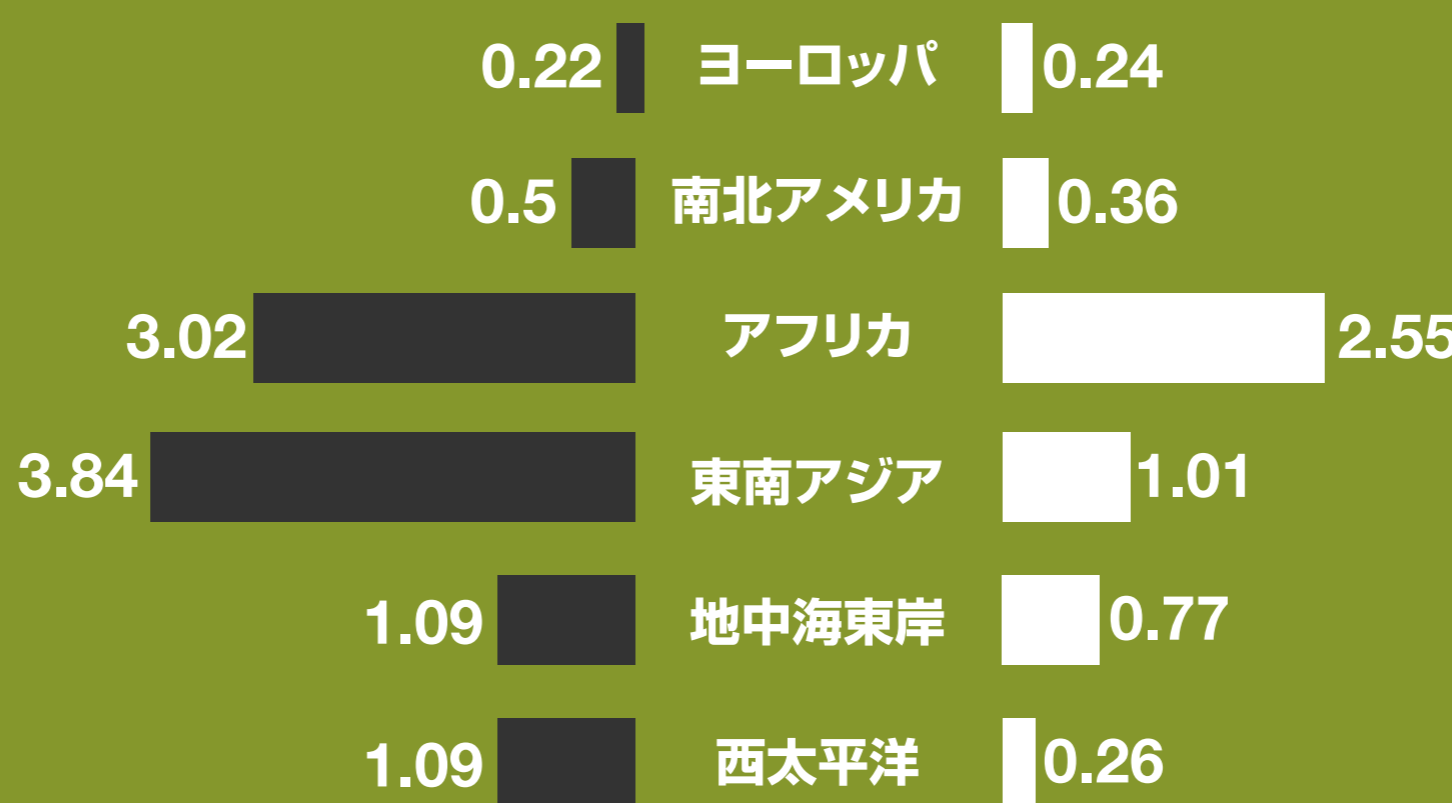
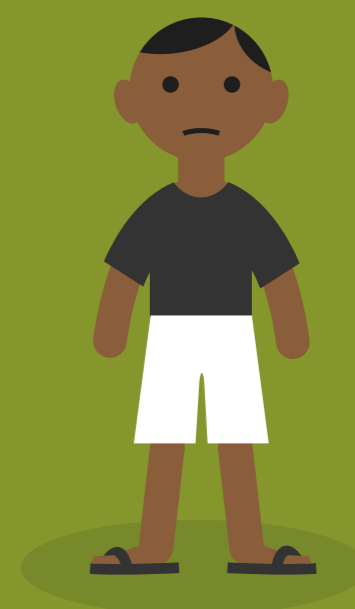
低所得国に住む妊婦*



夜盲症の妊婦の数
(単位:100万人)

夜盲症の未就学児の数
(単位:100万人)

低所得国に住む子ども



*特に妊娠末期に、妊婦と胎児はビタミンAを最も必要とします。

予防するためには？

世界保健機関は、ビタミンA欠乏の根絶を目指しています。これは迅速な介入と長期的なソリューションの組み合わせで実現することが可能です。



赤ちゃんを守るための最善策は母乳の推奨です。母乳にはビタミンAが豊富に含まれています。



短期的には、ビタミンA欠乏の子どもに、安価なビタミンAのサプリメントを大量に与えることで死亡率が23%低下します。



中期的には、栄養強化食品の摂取が、長期的には、バランスの取れた栄養価の高い食生活が、欠乏の予防に効果的です。

ネスレの取り組みは？

2016年までに、世界で年間

2,000億

サービング

の微量栄養素強化食品を提供します。



お客様の健康的な食生活を支援するため、ネスレは日常的に広く消費される食品(牛乳や調味料など)を対象に栄養強化を行っています。また、欠乏のリスクのある人々が購入しやすいよう手頃な価格帯に設定しています。



2014年には、ネスレの「手の届く価格帯の製品*」の売上の

81%

が、「4大」微量栄養素である鉄分、ヨウ素、ビタミンA、亜鉛の少なくとも1つを強化した食品で占められるようになりました。
*低所得者でも手の届く価格帯で高品質な栄養食品

出典

- Fortifying our Future: A snapshot report on food fortification
www.gainhealth.org/wp-content/uploads/2015/05/Fortifying-our-Future-A-SnapShot-Report-on-Food-Fortification1.pdf
- Global prevalence of vitamin A deficiency in population at risk: 1995-2005
www.who.int/vmnis/database/vitamina/x/en/
- Micronutrient deficiencies: Vitamin A deficiency
www.who.int/nutrition/topics/vad/en/
- Micronutrients - Iodine, Iron and Vitamin A
www.unicef.org/nutrition/index_iodine.html
- Nestlé commitment: Help reduce the risk of undernutrition through micronutrient fortification
www.nestle.com/csv/nutrition/micronutrient-fortification
- United call to action on vitamin and mineral deficiencies
www.unitedcalltoaction.org/documents/Investing_in_the_future.pdf
- Vitamin and Mineral Nutrition Information System: prevalence of night blindness
www.who.int/vmnis/database/vitamina/table3/en/